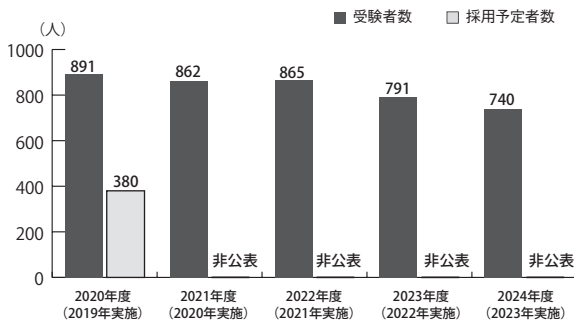


山形県

面積	9,323 km ²
人口	1,009,762 人
県の花	ペリばな
県の木	さくらんぼ
県の鳥	オシドリ

求める教員像	1 児童生徒への深い教育愛と教育に対する強い使命感、責任感のある方 2 明るく心身ともに健康で、高い倫理観と規範意識を備え、法令を遵守する方 3 豊かな教養とより高い専門性を身につけるために、常に学び、自らを向上させる姿勢をもち続ける方 4 山形県の教員として、郷土を愛する心をもち、人とのつながりを大切にして、地域社会においてよりよい学校を築こうとする方
出願期間	公開日 4月19日(金) 電子申請 4月22日(月)～5月12日(日)
試験日程	1次試験 試験日 7月13日(土) 合格発表日 8月9日(金) 2次試験 試験日 8月27日(火)～29日(木)の指定した日 合格発表日 9月25日(水)
年齢制限	昭和38年4月2日以降に生まれた者。ただし、スポーツ特別選考においては、昭和54年4月2日以降に生まれた者
募集教科	【小】〔「小学校英語」を含む〕 【中】国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 【高】(教諭)国語、世界史・日本史、数学、物理、化学、地学、保健体育、英語、家庭、情報、農業、機械、電気、建築、土木、工業化学、商業(助教諭)機械、電気、建築、土木、工業化学 【特】(小)(中)国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語 【養】 【栄】
特記事項	■特別選考 ●講師等特別選考 県内国公立の常勤講師等として平成31年4月1日～令和6年4月30日に通算13月以上勤務した経験のある者は、1次の教職・一般に代えて小論文を実施。 ●元職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ Ⅰは〔小・中・特(小・中)・養・栄〕志願者、Ⅱは〔高(教諭)〕志願者を対象。志願する校種・教科・科目等で国公立の正式採用教員として3年以上継続して勤務した経験のある者は、Ⅰは1次を免除〔〔小・特(小)〕志願者は2次の実技も免除〕、Ⅱは1次の教職・一般を免除。 ●現職教員特別選考Ⅰ・Ⅱ Ⅰは〔小・中・特(小・中)・養・栄〕志願者、Ⅱは〔高(教諭)〕志願者を対象。令和7年3月31日時点で、県外の国公立の正式採用教員として3年以上継続して在職している者は、Ⅰは1次を免除〔〔小・特(小)〕志願者は2次の実技も免除〕、Ⅱは1次の教職・一般を免除。 ●大学推薦特別選考 〔小、特(小)〕〔中〕国語、理科、技術、家庭、英語〔高〕(教諭)物理、化学、地学、家庭、情報、農業、機械、電気、建築、土木、工業化学、商業〔特(中)〕志願者で、大学等が推薦する者は、1次の教職・一般を免除。 ●大学3年次特別選考A 〔小、特(小)〕志願者対象。出願時に大学3年生等で、小学校教諭普通免許状等を令和8年3月31日までに取得見込の者は、1次の教職・一般を受験可能。 ●社会人特別選考 〔中・特(中)〕英語〔高〕(教諭)英語、情報、機械、電気、建築、土木、工業化学(助教諭)志願者で、令和7年3月31日時点で、志願する教科・科目と関連する実務経験を5年以上継続して有し、規定の要件を満たす者は、1次の教職・一般に代えて小論文を実施。 ●前年度第2次選考試験Bランク特別選考 令和6年度2次の判定通知に本特別選考に出願できる旨記載がある者は、1次を免除。 ●障がい者特別選考 試験内容等は一般選考と同じ。障がいの種類や程度に応じた配慮を行う。 ●スポーツ特別選考 〔高(教諭)〕保健体育志願者で、規定の要件を満たす者は、1次は小論文と面接のみ。

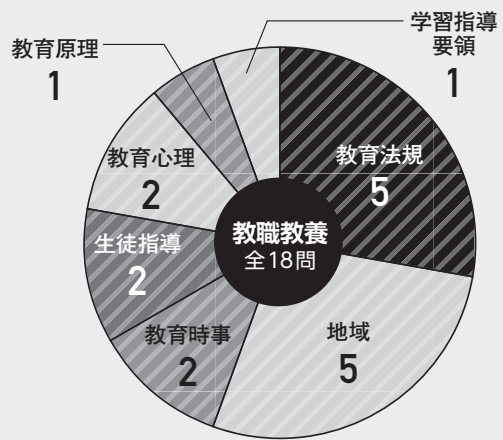
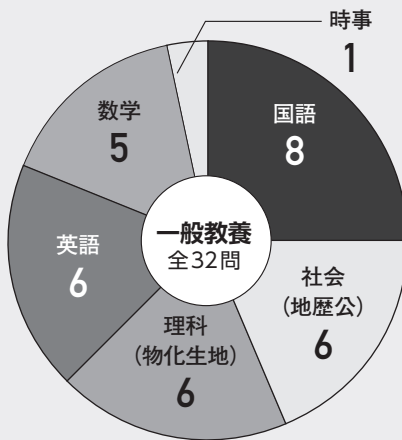
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	10,009	2,096	226
不登校(人)	685	1,388	588

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



*「地域」には「教育原理」、「教育時事」、「生徒指導」も含まれる。

- ▶ 教育時事で必出のご当地問題
- ▶ 教育法規は地方公務員法と教育基本法, いじめ防止対策推進法
- ▶ 人文科学は国語(同音異義語, 文法, 現代文読解, 古文読解)と英語(単語, 会話文, 文章読解)

〈教職教養〉のうち、**学習指導要領**では、小中学校で特別の教科 道徳が、高等学校で総則の「道徳教育に関する配慮事項」が、それぞれ出題された。

教育原理(特別支援教育, 学習指導法等)のうち、特別支援教育では「第4次山形県特別支援教育推進プラン」(2023年)から基本目標を問う問題が出題された。学習指導法では、ジグソー学習を問う問題が出題された。

生徒指導では、「生徒指導提要」(2022年)が頻出であり、今年度は「第10章 不登校」に関する問題がみられた。

教育時事において、ご当地問題は必出である。今年度は「山形県教育, 学術及び文化の振興に関する施策の大綱」(2020年)から6つの方針に関する問題が出題された。また、「やまがた教育の日」等の教育事情を問う問題も出題されている。国レベルでは、「第4期教育振興基本計画」(2023年)からコンセプトを問う問題等が出題された。

教育法規では必出の地方公務員法から第34条(秘

密を守る義務)が出題された。また、頻出の教育基本法といじめ防止対策推進法からそれぞれ第1条(目的)と第3条(基本理念)が出題された。このほか、学校教育法や教育公務員特例法からも出題されている。条文のキーワードを押さえるとともに、条文に対応する法規名を整理しておくことが重要だ。なお、今年度は出題のなかった憲法も頻出であり、確認したい。

教育心理ではさまざまな領域から出題されている。今年度はピアジェ, ソーンダイクの理解を問う問題がみられた。頻出の人物名・理論・理論の特徴を整理したい。

〈一般教養〉のうち、**人文科学**では例年、国語(同音異義語, 文法, 現代文読解, 古文読解)と英語(単語, 会話文, 文章読解等)を中心とした出題となっており、今年度も同じような傾向であった。**社会科学**では幅広い分野から出題されており、今年度も同様の出題傾向となった。**自然科学**では例年、数学(数の計算, 式の計算, 平面図形等)と理科全般から幅広く出題されており、今年度も同様の出題となった。